



都市とITとが出合うところ

福田 知弘 大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 准教授

建築・都市とIT（情報技術）とは一見遠く離れた別々の分野のように思えなくもない。しかし、情報社会の時代となり、建築・都市とITとは、計画、設計、施工、運用の各フェーズにおいて、互いの存在をますます無視できなくなっている。本連載では、都市とITとの両者が出合うところや課題について、魅力的な国内外の各地をぶらりと街歩きしながら考えてみよう。

第55回 香港中文大学 国際研修プログラム2018 (1)

はじめに

大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、夏の猛暑、台風（特に21号）、平成30年北海道胆振東部地震と自然災害が立て続けに発生した。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災され不自由な生活を余儀なくされている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

ISP2018@大阪・関西

過去2年に引き続いて、香港中文大学 中國城市住宅研究中心が企画するInternational Study Programmes (ISP：国際研修プログラム)が、2018年5月の1週間、大阪・関西で開催されることになった。

これまでの反省として、香港からの参加者が募集人員ほど集まっていなかった状況があった。ISPは強制ではない自主参加プログラムである。5月は、香港ではアカデミック・イヤーの終盤（日本でいえば2月頃）であり、学生たちは修士研究の仕上げや就職活動などに追われる時期である。そのような状況下で参加した過去の学生達は相当タフだと改めて感じたが、今年はISPをより詳しくPRすることを企画サイドで考えた。

そのため、募集時期である3月に香港を訪問し、香港中文大学のスタッフと共に、普通の観光では訪問できないISP独自の内容や今後のキャリアづくりとの関連性などを説明した。目論見は成功したようである。

ISP2018のキーワードは、日本における高齢者に優しいデザイン、質の高いコミュニティデザイン、コミュニティと建築・都市デザインとの統合の方法、歩いて暮らせる都市の体験、地元の人々との交流、グリーン建築、水や緑の優れた利用など。3回にわたり、訪問先をご紹介します。

NEXT21

NEXT21は、大阪ガス(株)による、近未来の都市型集

合住宅のあり方について、環境・エネルギー・暮らしの面から実証・提案することを目的とした実験集合住宅である。1993年の竣工以降、大阪ガスの社員とその家族が実際に居住しながら実験を続ける。2013年より「環境にやさしい心豊かな暮らし」をコンセプトに第4フェーズが推進されている。

第4フェーズで新たに行われたコンペを受けて完成した2住戸を紹介しよう。「4G HOUSE」は、「祖母、母、私、娘」の4つの世代、4人の女性が、それぞれ自立した個人として、お互いを支え合い、世代間を継ぐ住まいである。「プラスワンの家」は、50～60代の夫婦を中心軸に、1.5世帯に向けた新たな集合住宅のカタチとして、共に暮らす「誰か（＝プラスワン）」が変化しても、お互いの生活を尊重し、住み続けられる住まいである。

また、スマートマンションを具現化する次世代エネルギーシステムとして、SOFC（固体酸化物形燃料電池）住戸分散設置とエネルギー融通、デマンドレスポンス対応と逆潮運転、停電時自立システムの構築、HEMSの導入、再生可能エネルギーの組み合わせに関する実証実験が進められている。また、長年の実証実験の成果を踏まえて、次世代のエネルギーシステムを導入した集合住宅が大阪市内で建設中だそう（世界初）。これは、CO₂排出量と一次エネルギー消費量の大幅な削減と防災面に寄与するため、家庭用燃料電池（エネファーム typeS）を全戸に、スマートエネルギーハウス蓄電システムを一部住戸に採用している。

神戸

神戸は、漁村から港町へと発展してきた歴史、海も山もある大都会という立地、世界的に有名な夜景都市など、香港と類似性を感じる。

神戸市役所24階展望ロビーでは、神戸の歴史や主要な施設の配置について概観した（ガイド：タウンガイド KOBE24）。フラワーロードが昔は生田川だったことなど、興味深い。尚、港町神戸鳥瞰図1868と2017という展示物が昨年完成しており、都市の変化がわかりやすい。

続いて、旧居留地の歴史と景観施策について、旧居



福田 知弘 (ふくだ ともひろ)

1971年兵庫県加古川市生まれ。環境設計情報学が専門。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。大阪市都市景観委員会 専門委員、神戸市都市景観審議会委員、吹田市教育委員会委員、CAADRIA (Computer Aided Architectural Design Research In Asia) 学会元会長ほか公職兼務。NPO 法人もうひとつの旅クラブ理事。「光都・こうべ」照明デザイン設計競技最優秀賞受賞。主な著書に「はじめての環境デザイン学」など。ふくだぶろーぐは、<http://fukudablog.hatenablog.com/>

留地をまち歩きしながら理解を深めた。例えば、ビルの敷地や高層階のセットバックはなぜそうになっているのか、解説してもらわないと中々わからないものである(ガイド：神戸市住宅都市局)。

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) では、神戸市企画調整局より『「デザイン都市・神戸」の推進』について、デザイン・クリエイティブセンター神戸より KIITO の施設と取組み (CREATIVE

WORKSHOP ちびっこうべ等) について、内部見学を交えながら解説して頂いた。

メリケンパークは、昨年大規模リニューアル工事が完成、芝生広場の拡張、「BE KOBE」のモニュメント設置 (インスタサイト #bekobe は大人気)、夜間景観の演出、スターバックスの公園内店舗の出店などが行われている。今年度は、さらに、遊べる噴水広場がオープンしている (ガイド：神戸市みなと総局)。



香港 ISP2018 (上) NEXT21：プラスワンの家 (501) と自立家族の家 (303)
(下) 神戸の新たなスポット、メリケンパーク「BE KOBE」にて。